

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年11月6日(2014.11.6)

【公開番号】特開2013-105319(P2013-105319A)

【公開日】平成25年5月30日(2013.5.30)

【年通号数】公開・登録公報2013-027

【出願番号】特願2011-248685(P2011-248685)

【国際特許分類】

G 06 Q 10/00 (2012.01)

【F I】

G 06 F 17/60 1 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月17日(2014.9.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

発電部からの発電情報を取得する取得部と、
前記発電情報に応じて、行動特性を特定する特定部と
を備える特定装置。

【請求項2】

発電原理が異なる発電部を複数備える請求項1に記載の特定装置。

【請求項3】

前記行動特性を、仮想のオブジェクトに反映させる請求項1または2に記載の特定装置。
。

【請求項4】

前記行動特性に応じて、前記オブジェクトを生成する、または、前記オブジェクトの属性を変更する請求項3に記載の特定装置。

【請求項5】

前記行動特性に応じて、外観を変更する請求項1乃至4のいずれか1項に記載の特定装置。

【請求項6】

通信を行う通信部を備える請求項1乃至5のいずれか1項に記載の特定装置。

【請求項7】

前記通信部によって、前記行動特性を外部に送信する請求項6に記載の特定装置。

【請求項8】

前記通信部によって、前記発電情報を外部から取得する請求項6または7に記載の特定装置。

【請求項9】

前記通信部によって、他のユーザの行動特性を外部から取得する請求項6乃至8のいずれか1項に記載の特定装置。

【請求項10】

記憶部に記憶された前記行動特性を、前記取得した前記他のユーザの行動特性に書き換える書換部を備える請求項9に記載の特定装置。

【請求項11】

前記取得した他のユーザの行動特性が、記憶部に記憶されている行動特性と一致または近似していることを報知する報知部を備える請求項9に記載の特定装置。

【請求項12】

発電部からの発電情報を取得する取得部と、
前記発電情報を、仮想のオブジェクトの属性に反映させる属性処理部と
を備える制御装置。

【請求項13】

発電部からの発電情報を取得し、
前記発電情報に応じて、行動特性を特定する
特定装置における特定方法。

【請求項14】

発電部からの発電情報を取得し、
前記発電情報に応じて、行動特性を特定する
特定方法をコンピュータに実行させるプログラム。

【請求項15】

請求項1乃至11のいずれか1項に記載の特定装置を複数備え
前記複数の特定装置のそれぞれから発電情報を取得し、
前記発電情報に応じて、グループ単位の行動特性を特定する
特定システム。

【請求項16】

前記グループ単位の行動特性を、前記グループ単位の仮想のオブジェクトに反映させる
請求項15に記載の特定システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

したがって、本開示の目的の一つは、電池やセンサを使用することなく、例えば、仮想のオブジェクトに反映させるための情報を得ることができる特定装置、制御装置、特定方法、プログラムおよび特定システムを提供することにある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

太陽光発電部11bが動作することでDC電圧が生成される。生成されたDC電圧がパワーコントロール部20に供給される。DC電圧が発電量計測部24に供給される。発電量計測部24は、RTC27から供給される時間情報を参照して、供給されたDC電圧と電流量とから、単位時間当たりの電力および発電量を計測する。計測された単位時間当たりの電力および発電量が、発電情報の一例として、発電情報管理部26に供給される。発電情報管理部26は、供給された太陽光発電部11bの発電情報を、信号ラインL1を介してMCU12に供給する。なお、温度差発電部11cおよび電波発電部11dの発電情報も同様にして計測され、計測された発電情報が発電情報管理部26を介してMCU12に供給される。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0073

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0073】**

ステップS3_2およびステップS3_3がなされることで、明るい場所にいた時間が長いほど聖属性の傾向が強くなり、暗い場所にいる時間が長いほど闇属性の傾向が強くなる。ユーザの周囲環境により、キャラクタを特徴付けることが可能となる。

【手続補正5】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0083****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0083】**

具体的には、通信モジュール3_4は、発電デバイス2_bと他のユーザが所有する発電デバイス2_b'がすれ違うと、すれ違い通信を行う。通信は、様々な通信規格（例えば、BluetoothやZigbeeなど）に対応することができる。以下、通信モジュール3_4が行うすれ違い通信の概要について説明する。

【手続補正6】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0088****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0088】**

ステップS6_3では、通信モジュール3_4によるすれ違い通信がなされる。すなわち、通信モジュール3_4により、発電デバイス2_bから所定の範囲内に他の発電デバイス2_b'が存在するか否かが判断される。なお図示は省略しているが、所定範囲内に、他の発電デバイス2_b'が存在しない場合は、処理がステップS6_5に進み、発電デバイス2_bがスリープ状態になる。

【手続補正7】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0093****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0093】**

ステップS7_0では、発電情報が解析され、行動特性が特定される。ここで、ステップS6_9で受信する発電情報は、他のユーザが保有する発電デバイス2_b'の発電情報である。つまり、ステップS7_0における処理では、発電デバイス2_b'を保有する他のユーザの行動特性が特定される。そして、処理がステップS7_1に進む。ステップS7_1では、ステップS7_0で特定された他のユーザの行動特性がキャラクタの属性に反映される。例えば、他のユーザの行動特性に応じたキャラクタが生成される。そして、処理がステップS7_2に進む。ステップS7_2では、ステップS7_1で生成されたキャラクタの表示データがホスト装置3から発電デバイス2_bに対して送信される。送信されたキャラクタの表示データが通信モジュール3_4によって受信され、受信されたキャラクタの表示データがMCU1_2に供給される。

【手続補正8】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0107****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0107】**

MCU1_2は、通信モジュール3_4から供給された行動特性と、メモリ1_3に記憶されている行動特性と比較する。MCU1_2は、例えば、行動特性に関するデータの値を差分

を算出し、差分の結果が閾値以下であれば行動特性が似ていると判別する。行動特性が似ていると判別したときは、発電デバイス 2 c' のユーザを発電デバイス 2 c のユーザの仲間とみなす。1 または複数の発電デバイス 2 c' の行動特性と、ユーザの行動特性が比較され、仲間がない場合は、処理がステップ S 8 9 に進み、発電デバイス 2 c がスリープ状態に設定される。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 2 2】

一方、発電デバイス 2 d は、発電デバイス 2 e に対して太陽光発電部の発電情報を要求する。要求に応じて、発電デバイス 2 e は発電デバイス 2 d に対して、太陽光発電部の発電情報を送信する。発電デバイス 2 e は、ユーザ b の行動特性を特定する際に、発電デバイス 2 d から送信された太陽光発電部の発電情報を使用できる。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 3 5】

本開示は、以下の構成をとることもできる。

(1)

発電部からの発電情報を取得する取得部と、
前記発電情報に応じて、行動特性を特定する特定部と
を備える特定装置。

(2)

発電原理が異なる発電部を複数備える(1)に記載の特定装置。

(3)

前記行動特性を、仮想のオブジェクトに反映させる(1)または(2)に記載の特定装置。

(4)

前記行動特性に応じて、前記オブジェクトを生成する、または、前記オブジェクトの属性を変更する(3)に記載の特定装置。

(5)

前記行動特性に応じて、外観を変更する(1)乃至(4)のいずれか 1 に記載の特定装置。

(6)

通信を行う通信部を備える(1)乃至(5)のいずれか 1 に記載の特定装置。

(7)

前記通信部によって、前記行動特性を外部に送信する(6)に記載の特定装置。

(8)

前記通信部によって、前記発電情報を外部から取得する(6)または(7)に記載の特定装置。

(9)

前記通信部によって、他のユーザの行動特性を外部から取得する(6)乃至(8)のいずれか 1 に記載の特定装置。

(10)

記憶部に記憶された前記行動特性を、前記取得した前記他のユーザの行動特性に書き換える書換部を備える(9)に記載の特定装置。

(1 1)

前記取得した他のユーザの行動特性が、記憶部に記憶されている行動特性と一致または近似していることを報知する報知部を備える(9)に記載の特定装置。

(1 2)

発電部からの発電情報を取得する取得部と、
前記発電情報を、仮想のオブジェクトの属性に反映させる属性処理部と
を備える制御装置。

(1 3)

発電部からの発電情報を取得し、
前記発電情報に応じて、行動特性を特定する
特定装置における特定方法。

(1 4)

発電部からの発電情報を取得し、
前記発電情報に応じて、行動特性を特定する
特定方法をコンピュータに実行させるプログラム。

(1 5)

(1)乃至(11)のいずれか1に記載の特定装置を複数備え
前記複数の特定装置のそれぞれから発電情報を取得し、
前記発電情報に応じて、グループ単位の行動特性を特定する
特定システム。

(1 6)

前記グループ単位の行動特性を、前記グループ単位の仮想のオブジェクトに反映させる
(15)に記載の特定システム。